

私を変えてくれた10日間

藍住東中学校 東 芽以

私は迷ったあげくこの海外派遣事業への応募を決意したのは「オーストラリアに行って視野を広げたい」「積極的に行動できない自分を成長させて帰ってきたい」「3年間英会話レッスンを受けて身についた私の英語力を試したい」という理由が私の心の中で強く燃えていたからです。

オーストラリアへの到着が近づくにつれ、ホストファミリーはどんな人なんだろうか、ホストファミリーや現地の人に私の想いが私の英語力で伝わるのだろうかとすごく不安になっていきました。しかし、私たちを迎えに来てくれたホストファミリーはニコニコの笑顔で私たちに手を振っていて、心につかえていた不安が一気に取り除かれました。私がホームステイ先に着いて最初に驚いたことはお風呂場が4つあることでした。しかし、ドライヤーがどこにもないことに気づいた私はホストマザーに聞いてみようとして勇気を出しました。これで文法は合っているかと何度も何度も頭の中で確認し、恐る恐る口に出してみました。すると、すぐに理解してくれドライヤーを渡してくれました。ホストマザーが「あなた英語がとても上手ね。」と言ってくれた時は嬉しかったし自信ができました。私はこのとき、文法が少し間違っていたとしても単語を組み合わせるジェスチャーを加えれば意外と伝わるものなんだと分かり、それからは思ったことをすぐに口に出して伝えていました。食の面では、食卓にお米が出てきたことに驚きました。普通にお米が家に置いてあるなんて思ってもいなかったからです。また、ジャンクな食べ物が多かったのが胃が追いつかなくなりました。



そのため日本から持って行っていったインスタントのお味噌汁を飲んだ時は久しぶりの日本の味にホッとしました。学校ではバディの子との会話が上手く進まないときもあったけど、単語だけでも頑張っ



て頑張っ

てくれました。たとえ言葉が通じなくても喜びを分かち合えることを学びました。ホストファミリーに日本からのお土産として渡した湯のみは、「これめいがくれたやつだよ。」と言って毎日使ってくれていた

